

報道関係 各位

公益財団法人川崎医学・医療福祉学振興会
-医学・医療福祉学に係る助成-
令和4年度 助成金贈呈式 開催

公益財団法人川崎医学・医療福祉学振興会は、来たる7月6日（水）、令和4年度助成事業受賞者への助成金の贈呈式を開催いたします。

今年度の応募総数は募集件数（20件程度）を上回る24件にのぼり、厳正な選考の結果、20件を選定しました。（※別紙資料 ①助成対象者一覧 ②公募要綱 参照）

◇教育研究事業の助成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16件

◇教育研究機関及び地域社会との連携・交流事業の助成・・・・ 4件 計20件

（本年度は国際教育・研究交流事業の助成への応募はなし）

当法人は、岡山県内における医学・医療福祉学の向上と発展を促進し、県民の健康増進と医学・医療及び福祉に係わる人材の育成に寄与することを目的とする助成事業等を行っています。

平成15年の設立（平成24年に新公益法人制度へ移行）から昨年度までに、3つの項目について計309件の助成を行ってきました。

日時：令和4年7月6日（水）午前11時～12時

会場：学校法人川崎学園 西館16階大会議室（倉敷市松島577）

参考：<https://z.kawasaki-m.ac.jp/>



昨年度の贈呈式の様子

<問合せ先>

公益財団法人川崎医学・医療福祉学振興会事務局

（学校法人川崎学園 大学事務局 総務部総務課内）

Tel 086-464-1045(直通)

086-462-1111(代表) 内線 16056,16057

令和4年度(公財)川崎医学・医療福祉学振興会 助成事業に係る助成対象者【教育研究】(定款第4条第1項第1号)

(受付順)

No.	氏名	施設名	所属名	職名	研究題目
1	あかぎ たかひこ 赤木 貴彦	川崎医科大学	リウマチ・膠原病学	講師	「TNF受容体関連周期性症候群(TRAPS)モデルマウスの病態解明」
2	まつもと ゆうじ 松本 悠司	岡山大学	医学部 脳神経外科学	客員研究員	「膠芽腫における免疫チェックポイント分子が腫瘍細胞内シグナリングに与える影響の解明」
3	あさの すみえ 浅野 澄恵	川崎医科大学	リウマチ・膠原病学	講師	「全身性強皮症の組織線維化におけるエピジェネティクス異常誘導機構の解明」
4	もりなか ひろふみ 森中 啓文	川崎医科大学大学院	医学研究科 医科学専攻 生理系分野 尿路生殖器病態生理学	大学院生	「加齢男性性腺機能低下症候群(LOH症候群)に対する新規治療薬の探求 —Phosphodiesterase (PDE) 5阻害によるテストステロン産生作用への期待—」
5	わたなべ まさひろ 渡邊 政博	就実大学	薬学部	講師	「内在性DAMPs抑制分子を応用した新規炎症性疾患治療法の創製」
6	おおした かずしげ 大下 和茂	岡山県立大学	情報工学部	准教授	「若年女性の正常体重肥満(いわゆる隠れ肥満)に関わる過去および現在の生活習慣因子の検討」
7	もりわき たかひと 森脇 隆仁	川崎医科大学	分子遺伝医学	助教	「炎症性発がんのメカニズム解明」
8	ひらた じゅんや 平田 淳也	川崎医療福祉大学	リハビリテーション学部 作業療法学科	講師	「高齢者を対象とした遠隔リハビリテーションによる運動習慣獲得の効果検証」
9	なかむら かつや 中村 克哉	川崎医科大学附属病院	リハビリテーションセンター	言語聴覚士	「高齢女性患者における円背姿勢が摂食嚥下機能に及ぼす影響」
10	ふじた みか 藤田 美佳	川崎医療福祉大学	リハビリテーション学部 視能療法学科	助教	「半側空間無視および同名半盲に対する視線計測装置を用いた眼球運動の定量的評価指標と年代別基準の検討」
11	よこやま ともりのり 横山 友徳	川崎医科大学附属病院	リハビリテーションセンター	言語聴覚士	「頭部拳上時間を用いた嚥下関連筋群の定量的評価法の開発」

No.	氏名	施設名	所属名	職名	研究題目
12	いしづか ゆうた 石塚 佑太	川崎医科大学	病態代謝学	講師	「網膜色素変性症の新規モデルマウスとなり得るプロサポシン過剰発現マウスの解析」
13	おおうち たつひろ 大内 達央	川崎医療福祉大学	リハビリテーション学部 視能療法学科	助教	「視線計測装置を用いた新しい視力検査システムの構築」
14	せべ まゆ 瀬部 真由	川崎医療福祉大学	医療技術学部 臨床栄養学科	助教	「感染症・食中毒対策への応用を目指したジャワショウガ由来成分の抗菌活性の検討」
15	うじかわ たくや 氏川 拓也	川崎医療福祉大学	リハビリテーション学部 理学療法学科	講師	「地域高齢者に対するケーブルテレビを用いたフレイル予防介入の継続率と介入効果の検証」
16	かみうえ まさのり 紙上 真徳	川崎医療福祉大学大学院	医療技術学研究科 リハビリテーション学専攻 博士後期課程	大学院生	「高齢者への高頻度反復末梢性磁気刺激が下肢筋力や自己効力感に与える影響」

No.	申請代表者	申請者施設名	申請者所属名	申請者職名	行事名	期 日	会 場
1	さいしやう しんすけ 最相 晋輔	川崎医科大学	呼吸器外科学	講師	第97回中国四国外科学会総会・第27回中国四国内視鏡外科研究会	令和4年9月15日(木)・ 16日(金)	倉敷市芸文館
2	ふじわら よしのり 藤原 由規	川崎医科大学	消化器外科学	特任教授	第6回日本統合医療学会岡山支部学術講演会	令和4年10月9日(日)	川崎医療福祉大学 講義棟
3	さとう ひろき 佐藤 宏樹	川崎医科大学附属病院	リハビリテーションセンター	理学療法士	令和4年度 いばら元気シニアワードラリー	令和4年7月の4日間、 令和5年1月の4日間	井原市内の5つの公共施設(公民館、体育館)
4	のむら つねひさ 野村 長久	川崎医科大学	乳腺甲状腺外科学	講師	第31回 西部乳腺研究会	令和4年8月27日(土)	Zoomによる遠隔講演、症例検討

令和4年度 公益財団法人川崎医学・医療福祉学振興会 助成公募要綱

当財団では、令和4年度教育研究等助成公募を下記の3項目にわたって行います。
ふるってご応募いただきますようお願いいたします。

留意事項

- ※ 各事業の実施期間は、原則として当該年度の1年間とします。
- ※ 受賞者の方は、7月6日（水）11時から実施予定の「助成金等贈呈式」へ必ずご出席ください。（「助成金等贈呈式」の詳細については、6月中旬以降に受賞者の方へご案内いたします。）
- ※ 推薦者については、予め所属長から、推薦者となることのできることを得ておくこと。
- ※ 助成を受けた事業については、終了後、事業完了報告書等を提出していただきます。
- ※ 受賞者の方は、助成を受けた研究の成果を論文等で公表する場合、当財団から助成を受けた研究である旨を明記して下さい。

和文例：公益財団法人 川崎医学・医療福祉学振興会

英文例：The KAWASAKI Foundation for Medical Science and Medical Welfare

1. 教育研究事業の助成

(1) 目的

この助成は、岡山県内における医学及び医療福祉学に関する研究を助成し、その振興を図ることにより医学界及び医療福祉社会の発展に寄与することを目的としています。

(2) 対象

- ① 医学・医療福祉学の研究であって、申請者が1人で行うもの、または2人以上の研究者が同一のテーマについて共同で行うもの。
- ② 特色ある研究を発展させるためのもの。
- ③ 40歳以下（令和4年4月22日（金）現在）の者が行う研究で、将来の発展が期待できるすぐれた着想をもつもの。

(3) 助成件数と助成額

14件程度とし、1件あたりの助成額は総経費の1/2以内で、30万円を限度とする。

(4) 申請方法と締切日

- ① 申請方法 定められた様式による（要約はA4用紙1枚）。所属長の推薦が必要。
- ② 申請締切日 令和4年4月22日（金）（必着）

申請書の様式は、以下のいずれかの形式でダウンロードできます。

申請書 様式1（PDF）

申請書 様式1（Word）

2. 教育研究機関及び地域社会との連携・交流事業の助成

(1) 目的

この助成は、岡山県内の医学・医療福祉学の教育研究機関と地域社会との連携・交流事業に対して助成し、その振興と生涯学習の高揚、また、医療福祉知識の一層の普及を図ることを目的としています。

(2) 対象

岡山県内の医学・医療福祉学に関する教育研究機関に所属する者が、岡山県内の会場で、本年度中に実施する下記の行事を対象とします。

- ① 公開講座
- ② セミナー
- ③ 講演会
- ④ 研究会
- ⑤ 研修会 等

(3) 助成件数と助成額

4件程度とし、1件あたりの助成額は総経費の1/2以内で、20万円を限度とする。

(4) 申請方法と締切日

- ① 申請方法 定められた様式による（要約はA4用紙1枚）。所属長の推薦が必要。
- ② 申請締切日 令和4年4月22日（金）（必着）

申請書の様式は、以下のいずれかの形式でダウンロードできます。

- 申請書 様式2（PDF）
- 申請書 様式2（Word）

3. 国際教育・研究交流事業の助成

(1) 目的

この助成は、医学・医療福祉学にかかわる岡山県内の研究者を海外の研究・研修へ派遣、または、外国の研究者を県内の大学へ招請する事業の一部（旅費、滞在費等）を助成することにより、教育研究の向上に資することを目的としています。

(2) 対象

- ① 派遣は、医学・医療福祉学に関する外国の大学または研究所での研究・研修であること。
- ② 招請は、医学・医療福祉学に関する外国の大学または研究所に所属する研究者であること。

(3) 助成件数と助成額

海外派遣 1件程度とし、助成額は総経費の1/2以内で、30万円を限度とする。
外国人招請 1件程度とし、助成額は総経費の1/2以内で、30万円を限度とする。

(4) 申請方法と締切日

- ① 申請方法 定められた様式による（要約はA4用紙1枚）。所属長の推薦が必要。
- ② 申請締切日 令和4年4月22日（金）（必着）

申請書の様式は、以下のいずれかの形式でダウンロードできます。

《派遣用》

- 申請書 様式3（PDF）
- 申請書 様式3（Word）

《招請用》

- 申請書 様式3（PDF）
- 申請書 様式3（Word）

※ 申請書は下記宛に直接ご請求いただくか、または、このページからダウンロードしてください。

【申請書提出及び問合せ先】

〒701-0192 倉敷市松島 577 学校法人川崎学園内
公益財団法人川崎医学・医療福祉学振興会事務局
TEL：(086) 464-1045 FAX：(086) 464-1110
E-Mail：zaidan@med.kawasaki-m.ac.jp